



## ○あけまして おめでとうございます 本年もよろしくお願いたします。

年が明けてすぐ、能登半島地震や航空機の事故がありました。地震があってから10日余りが過ぎようとしていますが、亡くなった方が100人以上になり、倒壊した家屋の下敷きとなり今なお救出を待っている方・行方不明の方が多数おみえになるこの状況は、誰に当たることもできない悔しさを覚えざるを得ません。ライフラインをズタズタにされ、住む家も破壊されてしまっている、この悲惨な状況にある方々のご心痛を思うと、悲しみに耐えぬ思いです。そんな方々への思いを寄せながら、自分たちの日常を見つめ直し、私たちが今できることを一生懸命に頑張る気持ちや心を合わせて協力していくことの大切さを改めて感じています。

辰  
年

## 学年のまとめに 「自信と誇り、そして感謝」

昨年の12月(年末)に、6年生がリーダーとなって全校で「なかよしフェスティバル」に取り組みました。「なかよしフェスティバル」は一年のいくつかある行事の中で、異学年で協力して行う最も重要な行事の一つとなっています。1年生から6年生までが、お互いに協力し合い、異年齢で活動する楽しい時間をつくり出すことができました。縦割りの「なかよしグループ」の中で計画した遊びのルールを工夫することやそれぞれの学年の役割をはっきりとさせ、その役割をやり切ることで、協力し合っ活動することの大切さや充実感を感じることでできる時間となりました。そして、冬休み明けの笑顔で元気に登校する子ども達の様子から、この充実感と共に、1月がスタートできたように感じました。

さて、1月に入り子ども達にとって今の学年が残り3カ月で終わることになります。残りの3カ月間、どの子にとっても充実感とやり切った満足感を手にして進級してほしいと考えています。どんなことができるようになって、何をやり切って進級していくのでしょうか。各教科の学習内容がわかっていくこと、委員会や係活動・掃除・日直などの活動で自分の責任を果たしていくこと、クラスの活動やクラブ活動などで仲間と協力し合っ活動することなど、高めていきたい中身はいっぱいあります。どんな視点や内容でもいいと思います。その子にとって、「この内容なら頑張れる！これをやり切っていきたい。」と感じるものをしっかりと磨いて、自分に「自信」をつけてその活動をやり切ってきたことに「誇り」に感じてほしいと考えています。

そして、もう一方で自分一人で頑張った(成長できた)わけではなく、その頑張りに刺激をくれた仲間、いつも見守り支えてくださっている地域の〇〇さん、など、自分に関わり周りからたくさんの支えをいただいていることを感じ、「感謝」の気持ちを持ってほしいと感じています。

今年度の締めくくりに向けて、頑張っていきます。保護者の皆様・地域の皆様、これからも、ご支援・ご協力、よろしくお願いたします。